


大阪産業大学 研究シーズシート

研究シーズ テーマ	安全・安心に利用できる公共空間のデザイン手法			
分 野	建築計画、都市計画、近代建築史			
キーワード	行動調査、視線測定			
研究者名・職位	船曳悦子・教授			
所 属	建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科			
研究シーズ概要	鉄道駅周辺や市庁舎など、公共空間における人々の行動に着目しています。これらの空間は、施主の要望や建設費などのさまざまな設計条件をクリアしつつ、利用者のことを考えて設計されているはずです。しかし、その設計者の思いは利用者に伝わり、計画意図のとおり利用されているのでしょうか。当初の計画とは異なる状況も存在すると思います。意図された空間の用途と実際の利用状況が噛み合わない場合、空間としての機能を果たせていないことになります。研究を通して、より利用しやすく居心地の良い公共空間の実現に尽力したいと考えています。			
進捗状況	着想・構想段階	基礎研究段階	実証段階	
連携研究の 範囲・方法	委託研究、共同研究、共同調査			
用途・効果 ・市場	「歩きスマホ」の危険性やエスカレーターにおける片側歩行など、都市空間において危険と認識されながら行われる行動や行為を調査し、安全で安心な空間デザインの提案をともに考えます。			
研究者の 業績等	◆松本直司(編)・船曳悦子他：景観まちづくりの軌跡，理工図書，2016 ◆市庁舎における市民空間の位置関係とその滞留特性について https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/75/647/75_647_51/_article/-char/ja/ ◆繰り返し発令された緊急事態宣言解除直後の公共空間における利用者の停留・滞留行動 https://www.jstage.jst.go.jp/article/aijt/29/71/29_352/_article/-char/ja ◆利用者の密度分布にみる駅周辺広場における停留・滞留特性 https://www.jstage.jst.go.jp/article/aija/82/739/82_2257/_article/-char/ja ◆位置情報を活用したゲームアプリが公共空間の利用者の行動に与える影響 https://www.jstage.jst.go.jp/article/jasis/28/0/28_63/_article/-char/ja			

連絡先	<p>大阪産業大学 社会連携・研究推進センター 産業研究所事務室</p> <p>TEL：072-875-3001（内線 2816・2809）</p> <p>FAX：072-875-6551</p> <p>E-mail：sangaku@cnt.osaka-sandai.ac.jp</p>
-----	---